



こまくさ

平成30年
10月12日(金)
No.22

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしく! たくましく!~

後期スタート! ~日々の授業、家庭学習のさらなる充実を願って~

11日(木)後期の始業式を行いました。後期は、比較的行事も少なく、落ち着いて学習に取り組める時期であり、また進学や進級の準備の時期でもあります。始業式で発表した子どもたちの作文の中にもこのような後期である事を意識した内容がありました。式の中で、私が子どもたちに話した内容も、将来の夢をかなえるために、しっかり学習に取り組んでほしい、特に生保内小学校の子どもたちは、諸調査の結果、家庭学習の時間が少ないので、家庭学習に力を入れてほしいということでした。また、先日連絡しましたように11月2日(金)には、文部科学省の方や大学教授、東北各地の先生方が、本校の生活科と総合的な学習の時間の授業を見に来てくださる公開研究会があります。日々の様々な教科での学習の成果が表れますので、毎日の授業を大切にしながらがんばってほしいと思います。

また、式の後「全校マラソンもうひとつの金メダル」の表彰を行いました。担任の先生が様々な理由で選考し、各学年男女1名ずつにメダルをわたしました。誰がどんな理由で受賞したのか、家庭での話題にしてみてください。

ぜんきの思い出とこうきにごんぱりたいこと 2ねん K. さん

わたしが、2年生になって、ぜんきの生かつで、一ばんたのしかったことは、M.さんと、こうつうこうえんのうんていであそんだことです。ほかには、H.さんとてつぼうをしたことです。それと生かつかのべんきょうでくまぐま園に行って、くまにえさをあげたことです。くまは立って口を大きくあーんとあけるので、口にはいるように、えさをなげましたが、下におちてしまうえさもたくさんありました。そして、あき休みは弟のおせわもごんぱりました。こうきは、ぜんきでもごんぱった、じぶんからすすんではっぴょうしたり、いろんなことにちょうせんしたりすることをごんぱりたいと思います。



後期にごんぱりたいこと 3年梅組 A. さん

わたしが、後期にごんぱりたいことは、三つあります。一つ目は勉強です。今、とび箱を6段とべるので、体育の時間に練習をがんばって8段とべるようになりたいです。国語で勉強したローマ字は、見ただけでどんな言葉かわかるようになりたいです。

二つ目は、そう合のすてきちょうさです。前期のおわりに、オモテナシ3兄弟と土屋パパが学校に来て、3年生に田沢湖のすてき調さをおねがいされました。わたしはそう合の勉強で、田沢湖の温泉を調べているので、自分たちで調さに行つてわかったことを、オモテナシ3兄弟と土屋パパにしっかりお知らせできるようにごんぱりたいです。

三つ目は、家での勉強です。一人勉強を一日2ページごんぱりたいです。家に帰ったらすぐに一人勉強を終わらせて、のこりの時間でいろいろなことを調べるようにして、次の勉強に生かしたいです。

後期もいろいろなことをごんぱって、楽しくすごしていきたいです。



前期のふり返りと後期にがんばりたい事

5年梅組 T. さん

私が前期にがんばったことは、委員会の仕事です。今年から高学年になり、運営委員会の一人として、行事などのいろいろな仕事をがんばりました。委員会の仕事では、まだまだ学ぶことはあります。でも、この半年で、6年生がたくさん働いているすがたを見て、自分が6年生になった時、下級生を引っばっていけるようなリーダーになりたいと思いました。6年生から教えてもらったことを、これから生かしてがんばりたいです。

前期にがんばったことは、もう一つあります。それは、苦手な算数の勉強です。家庭学習などでたくさん練習しました。4年生のころは、テストなどで計算ミスが多くありました。5年生になり、内容も難しくなったけど、練習をがんばったおかげでチャレンジテストなどの点数がよくなりました。

いろいろなことがあった前期が終わって、私が6年生になるまで、あと半年です。その後期でがんばりたいことは二つあります。一つ目は、6年生のやっていることをよく見ることです。いつも、そうじの班長や委員会の仕事をやってくれている6年生だけど、次は自分たちが全部やることになります。リーダーとしてみんなをまとめる立場です。

だから、今から6年生の姿を見て、自分たちの番になった時にがんばれるようにしたいです。二つ目は、社会の学習です。前期は、苦手な算数をがんばりましたが、社会も苦手教科なので、後期のがんばるめあてにします。社会は家庭学習でやることがあまりありませんでした。それで忘れることが多くて、テストで間違うことがありました。後期の家庭学習では国語や算数と一緒に社会の勉強にも取り組みたいです。やったことをコツコツ復習しながら頭に入れて、テストでもいい点をとれるようにがんばります。



東風の子の活躍

◆青少年読書感想文コンクール

高学年（5・6年生）課題図書の一部	第二席	5年梅組	S. さん
低学年（1・2年生）課題図書の一部	第三席	1年梅組	S. さん

がっこうだってどきどきしてる

1年 S. さん

このほんは、あたらしくできたがっこうのおはなしです。がっこうは、どんなこどもがくるのか、どきどきしんばいしていました。でもがっこうは、いろんなこどもをみわたのしくなりました。まいにちこどもたちが、がっこうにきてほしいとおもいました。

ぼくも、にゅうがくしきのまえは、どきどきしていました。べんきょうをしたことがなかったから、さんすうもこくごもどんなことをするのか、わからなかったからです。それに、ほいくえんとちがって、こわいせんせいが、たくさんいるとおもったからです。ぼくには、みつつうえにあねがいます。あねはがっこうからかえると、まいにちしゅくだいやひとりべんきょうをやっています。それをみて、とてもたいへんだとおもいました。でも、がっこうにいてみると、こわいせんせいもいるけれど、やさしいせんせいがたくさんいて、うれしいしあんしんしました。べんきょうもさいしょはわからなかったけれど、すこしずつわかるようになりしました。ぼくは、さんすうのかずをかぞえるのがすきです。それに、しよしゃできれいにひらがなをかくこともすきです。べんきょうだけでなく、がっこうにいくと、まいにちともだちにあえます。ともだちだけでなく、そうじのときには、たてわりはんのおにいさんやおねえさんにあえます。みんなやさしくて、ぼくがわからないことやこまったことがあると、すぐにおにいさんもおねえさんもわかりやすくおしえて、たすけてくれます。ぼくは、そんなおにいさんやおねえさんがだいすきです。そして、やさしいせんせい、おにいさんとおねえさん、なかよしのともだちがあつまるがっこうが、ぼくはたのしくてだいすきです。これからもべんきょうをがんばって、やくざいしになりたいです。